

やまばと

令和6年6月1日発行
発行者 No.47
社会福祉法人 矢祭福祉会
福島県東白川郡矢祭町大字東館字蔵屋敷122
TEL (0247) 46-3385
fax (0247) 46-4400



母の日「カーネーション」の前で記念撮影

「ユアイホーム 今昔30年」

施設長 金澤 健至

清々しい初夏の風に、ユアイホームを囲む田んぼの稻苗も気持ちよさそうに揺れています。さて、令和6年度に入りましたが、ユアイホームは施設オープン以来30年という節目の年を迎えることとなりました。平成6年4月1日の開所以来、30年もの長きにわたって施設を運営できましたこと、ご利用者様とご家族の皆さま、関係機関の皆さま、そして地域の皆さまのご厚情、ご支援のたまものと心より感謝申しあげます。

平成6年（1994年）を振り返ってみると、6月に自社さ連立政権の村山内閣が発足、戦後初めて1ドル=100円を突破し“円高”が進行、夏は全国で記録的猛暑となり、水不足が発生、世相では「就職氷河期」が流行語大賞を受賞するなど就職難と人員削減（リストラ）の深刻な社会問題をかかえていました。

また、平成7年の参考値になりますが、矢祭町の総人口は7,409人、65歳以上人口が1,785人、高齢化率は24.1%となっています。（「令和2年 矢祭町人口ビジョン」より）

では、出来たてほやほやのユアイホームは、どんな様子だったかといいますと、ベッド数は特養30床、ショートステイ10床で建物面積は1,800m²、職員数も総勢18名（介護職員9名、看護職員2名）の小規模施設で、デイサービスセンター（E型）および在宅介護支援センターが併設されていました。

現在のユアイホームは、ベッド数が特養86床、ショートステイ10床と2.4倍に増床、建物面積も3,582m²と約2倍に増築、職員数は総勢62名（介護職員36名、看護職員11名用務職員5名）と3.4倍に増員されて、併設（隣設）事業として、おひさまデイサービス、ケアハウスせせらぎ荘があります。

開所当時の資料には「地域の高齢者介護の助長、社会的孤立感の解消を図り、総合的な高齢者福祉施策の拠点として、高齢者福祉の一端を担い、これが増進に寄与せんとするものである…。」と“ユアイホーム建設の目的”が掲げられています。30年が経過し事業も拡大した今、改めて初心を振り返り、開所時の目的がきちんと達成できているのか、地域の高齢者福祉の拠点としての役割を果たし、信頼と期待に応えているのか、自省を感じています。

令和6年度永年勤続表彰

5月23日（木）ユアイホーム会議室において、当法人として永年にわたって精勤勉励し、運営する事業の安定と発展に貢献・寄与したものを表彰することを目的に、今年度は20名（30年表彰7名、25年表彰2名、20年表彰4名、10年表彰1名、5年表彰6名）の表彰がありました。



5年表彰

入居者の健康管理と自分の健康に気を付け今後も看護師として健康で長く勤められるよう精進してまいります。
寺内

20年表彰

ここまで働けたのも一緒に仕事をした仲間と家族の支えのおかげです。これからも頑張ります。
金澤

10年表彰

入職してあっという間に10年が経ちました。これからも入所者様の笑顔を引き出し安心して暮らせる施設作りを目標に頑張っていきます。
国分

25年表彰

入職したのが増床の時で大勢の職員がいた中、今は2人だけになりました。これからも矢祭福祉会のために誠心誠意尽くしてまいります。
菊池

30年表彰

ここまで働けたのも周りの方々の支えがあったからこそです。今後も精一杯精進してまいります。
鈴木

事務だより

令和5年度 苦情（要望）解決状況

<ユアイホーム・ショートステイ>	要望 5 件
<おひさまデイサービスセンター>	要望 3 件
<ケアハウスせせらぎ荘>	要望 3 件
<デイサービスセンター館山荘>	要望 1 件
<軽費老人ホーム櫻の苑>	要望 6 件

（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

苦情や要望については、速やかにしっかりと対応し、満足度の高いサービスを提供することができるよう努めております。
苦情受付箱は正面玄関、各ホールに設置しております。



~編集後記~

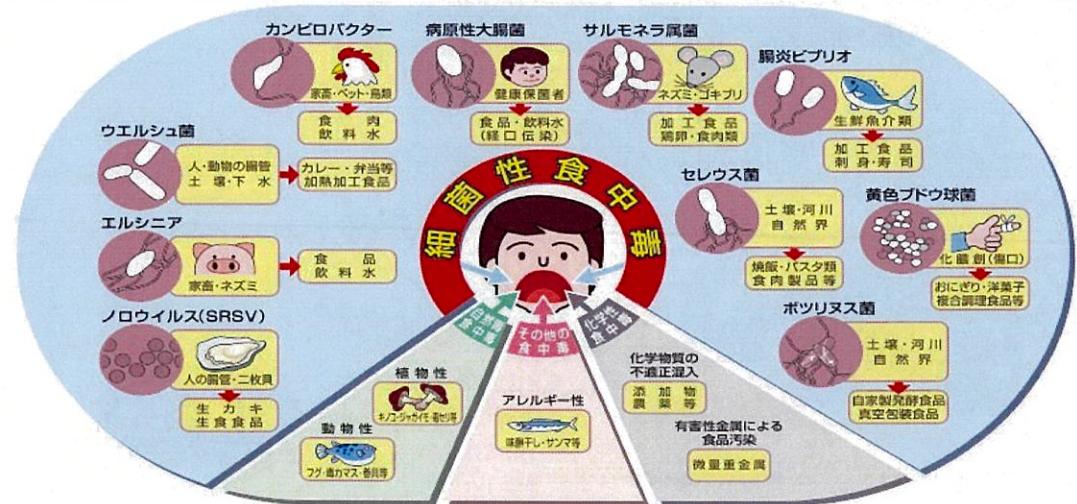
今年のGWは天候にも恵まれたようで行楽やバーベキューを楽しんだ方大勢いたと思います。連休明けはなんとなく体調を崩す、俗に言う「五月病」になりやすい時期ですね。気温も上がり、夏も間近に迫り、昨年のような猛暑だけは勘弁だと思う今日この頃です。

☆食中毒に注意が必要な時期になってきました。3つの予防のポイントに注意しましょう。

給食だより

食中毒予防の3つのポイント

食中毒菌をつけない 清潔・手洗い 食中毒菌を増やさない 乾燥・冷却 食中毒菌をやっつける 加熱・殺菌



◎美味しく、安全な食事で健康な毎日を過ごします。

管理栄養士 菊池

医務室だより

だんだん夏が近づいてきました。汗をかいたら、しっかり水分補給していますか？

脱水症はなぜ起こる？

人間の身体は、成人で6割が体液から成っています。(お年寄り5割、新生児7~8割と年齢によって割合に変化がみられます。)体液とは、血液・リンパ液・唾液・粘液・消化液・尿などで、人間の身体が生命活動を行ううえで欠かすことのできないものです。この体液が失われた状態を脱水症といいます。

脱水症を起こすと、酸素や栄養素がうまく体内に行き渡らなかったり、老廃物を排出することが出来なくなったり、体温をうまく調整できなくなるなどの問題が生じます。治療を怠ると命にかかることがあるので、症状に気づいたらすぐに処置を行うことが必要です。こまめな水分補給を行って、脱水症を予防しましょう。

健康維持、異常の早期発見に努め安心して暮らしていく様、利用者様の健康管理に努めてまいります。

看護師 近藤

☆手指の清潔が一番のポイントです。
手洗い習慣を身につけましょう



新たな取り組みに向けて

特別養護老人ホーム ユーアイホーム



今年度から介護施設の口腔管理が義務化となりました。口腔ケアとは歯を磨く、義歯を取り外して洗浄する、うがいを介助するなど、口腔内を清潔に保つことを指します。口腔衛生を保ちながらADLの維持、向上を図る為に歯科医師、歯科衛生士、栄養士等、関係職種との連携を通じて口腔衛生管理を適切に行えるよう取り組んでいきます。



昨年より実施している企画ではありますが、「ただいまお帰りなさい事業」を今年度も継続していく予定です。

車椅子の方も寝たきりの方も外出をし気分転換を図るという目的です。慣れ親しんだ我が家を見て、体力的にも気分的にも元気になり、ストレスが軽減でき、そして、自宅へ行って家族と大切な時間を過ごすことが出来る様にお手伝いします。外出イベントを通して利用者様に満足していただけるサービスになるように努めていきたいと思います。

麗らかな陽気のもとで…



軽費老人ホームケアハウスせせらぎ荘

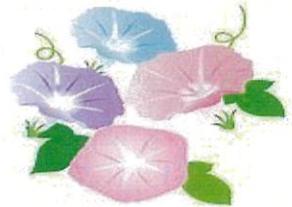


天気の良い日に、お花見と足の運動を兼ねて散歩に出掛けました♪



4/28(日)GW お食事風景♪

本日のメニューはお刺身がメインの昼食となりました。また、毎月給食委員会にてご意見、ご要望、企画について話し合いの場を設けております。



せせらぎ荘では穏やかな陽気の日にレクリエーション活動の一環として、施設敷地内外の散歩を行っております。ユアアイホーム新館食堂ホール前を通る際には入居者様同士笑顔で手を振る姿が見られます。入居者様からは「外を歩くのは気持ちいいね」「いい足の運動になるね」などの声が聞かれました。

本年【玄関から感じる明るい雰囲気作り】の取り組みとして、玄関ホールの飾りつけ、照明、玄関マットの交換などリニューアルに取り組んでおります。

令和6年5月7日(火)より、毎週火曜日の午前中に【やまゆりの会】様による、せせらぎ荘訪問奉仕活動(施設内清掃、外回りの清掃、草ひき、ガラス拭きなど)が開始されました。職員一同感謝の気持ちをもって交流を図って参ります。本年度も軽費老人ホームケアハウスせせらぎ荘をよろしくお願い致します。

機能訓練だより

廃用症候群について



廃用症候群とは、過度に身体を動かさないことで起こる障害の総称です。症状は多岐に渡りますが、適切な対応で予防をすることができます。

例えば、筋力は1週間の寝たきりで10~15%低下するとされています。筋骨格系の予防には、適切な頻度と適切な強さでの運動を行うことが重要になります。

当施設では、廃用症候群の予防への取り組みとして介護職員と連携し、理学療法士と看護師が評価・機能訓練を実施しています。

理学療法士 塩沢



地域に密着したデイサービスを目指して！！

おひさまデイサービスセンター



デイサービス前の中庭です。毎年畑を耕し利用者様皆さんで今回はじやかいも🥔植えを行いました



戸津辺の桜

戸津辺の桜は樹齢600年の県指定天然記念物のエドヒガンザクラです。県内で1番目に花をつける早咲きの一本桜として有名です。
毎年この開花時期にはお花見に出かけます



利用者の皆様、ご家族の皆様に寄り添ったサービス提供が出来るよう笑顔とあたたかい心でお一人おひとりに向き合いその方らしく過ごしていただけるようスタッフ一同、より良いケアを目指しております。

戻ってきた日常…
外に出かける楽しみを♪

軽費老人ホーム 櫻の苑



竜神橋へバスハイキング



端午の節句・母の日はテラスにて…

櫻ファームで野菜作り

新年度を迎えて、矢祭町軽費老人ホーム櫻の苑では、バスハイクや買い物ツアーや外食ツアーナーなど、施設の外に出掛ける機会を多く設けていきたいと考えております。ここ数年は、コロナの影響により、施設内での生活を余儀なくされておりました。そのような状況の中でも入居者様に楽しんでいただける方法はないかとスタッフ一同知恵をしぼり、「さくらカフェ」や「映画観賞会」「おしゃれ撮影会」をはじめ、季節の行事を多く取り入れてまいりました。

今年度は、櫻の苑に新たに公用車（ハイエース）が加わったということもあり、地域に出て楽しむイベントを開催していきたいと考えております。ご家族の皆様、地域の皆様のおすすめスポット等がございましたら、ご教示いただけますと幸いです。

櫻の苑では、スタッフ一人ひとりの成長、そしてやる気が、入居者様の「生活の質の向上」につながると考えております。そのため、施設内外の勉強会への参加を促すとともに、スタッフ一人ひとりの特技を活かすことで、成長とやりがいにつなげていきたいと考えております。

地域とともに成長できる櫻の苑でありたいと考えておりますので、今後ともご家族の皆様、地域の皆さまのご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。